

本展では、画家たちが旅して描いた風景画を紹介します。画家たちは時に学びのため、またある時には画題の探求を目的とし、国内外さまざまな場所を訪れその景色を描いています。そして、旅先の自然や文化との出会いから感動や発見を得て、自らの作品に昇華させていきました。

### 【外国風景】

須田国太郎は、1919（大正8）年スペインのマドリードに遊学し、西洋絵画の研究のかたわらヨーロッパ各地を巡って、心惹かれる風景に出会うと筆を揮りました。

鳥海青児は、スペインやアルジェリアなどを旅し、その観察眼で旅先の特徴を独特のマチエールで表現しています。

その他、日本とは異なる重厚な石造りの家や教会など、フランスの情景に魅せられた佐伯祐三や三岸節子らの作品を紹介します。



1.



2.

### 【国内風景とスケッチ】

小林和作は、1936（昭和11）年頃から毎年、春と秋にスケッチ旅行をし、日本国内の自然や、ダムのある風景を求めて描きました。

岡崎勇次は、1976（昭和51）年から毎年、厳寒期の東北や北海道に取材旅行にでかけました。猛吹雪の中で描かれたスケッチ作品なども展示します。



3.



4.

画家たちが、さまざまな場所に思いを馳せて描いた風景画に浸りながら、旅気分を味わっていただけますと幸いです。

1. 鳥海青児《スペイン風景》1959-62年 油彩・キャンバス
2. 佐伯祐三《パリの教会堂》1928年 油彩・キャンバス
3. 須田国太郎《月瀬平》1949年 油彩・キャンバス
4. 岡崎勇次《旅日記(S55.12.24)ノシャップ岬》1980年 水彩・インク・紙

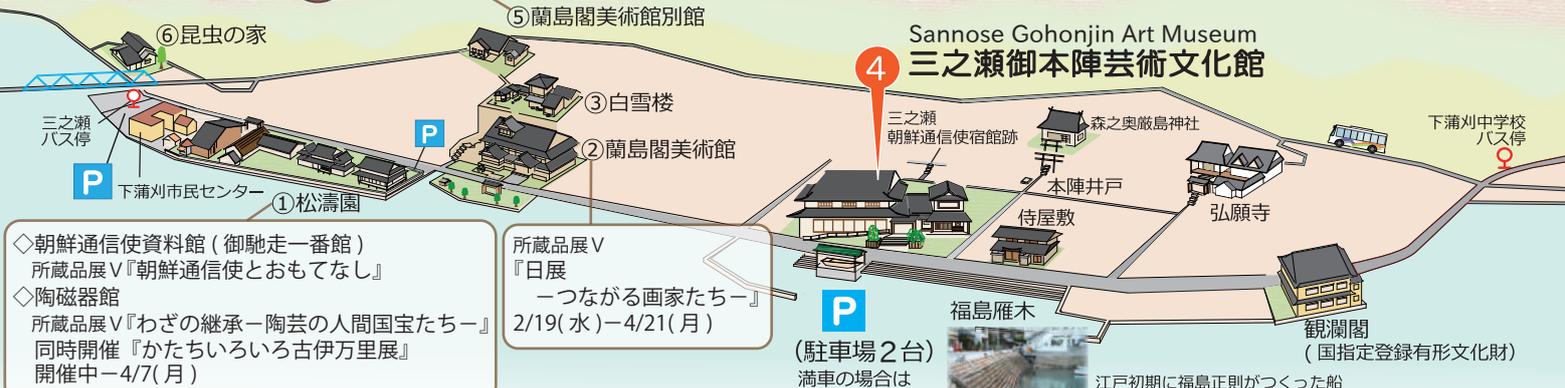
**ワークショップ**  
**「3Dアートボックスで旅の思い出を残そう！」**

イラストを印刷した厚紙をカットして重ね、立体的なアートボックスを作成します。旅の思い出としていかがでしょうか。

日 時：3月22日(土)、23日(日) 10時～15時  
 場 所：当館エントランス  
 参加費：無料（別途入館料が必要）  
 事前申し込み不要



## 散策マップ



### 🚗 広島市内から車で約60分

呉市内より国道185号線を竹原方面へ。安芸灘大橋（有料）を渡った最初の島が下蒲刈島です。下蒲刈市民センター前の無料駐車場をご利用できます。

指定施設にて1,000円以上ご利用の方に安芸灘大橋の帰りの通行券を進呈！  
 詳しくは、呉観光案内所 TEL:0823-23-7845 まで

### 🚗 + 🚊 呉市内から電車・バス利用の場合

JR呉線で広駅を下車。広駅前の道路を渡ったところにある「広駅前」バス停から瀬戸内産交運行の「営農センター・沖友天満宮行き」バスに乗り、「下蒲刈中学校」または「三之瀬」で下車。バスは上下線とも毎時1本運行しています。  
 [バスに関するお問い合わせ：瀬戸内産交（株）TEL 0823-70-7051]



Instagram Facebook



当館のSNSはこちらから♪